

【北海道通信に掲載されました】

1月23日（水）、本校体育館にて3年生による総合的な学習の時間まとめ発表会を行いました。3年生の総合的な学習の時間のテーマである「地域の歴史を知り、これからを考える」のもと、各グループに分かれ、「風力発電についての是非」「将来の羽幌を良くするプラン」「鮭の生態と物質環境」「鮭に関する食生活について」に関して、3年間学んだことや調べたこと、各自の考えや意見を発表しました。1・2年生は3年生の発表を聞き、今後の活動内容や課題点などを理解したようでした。

羽幌高3年生 総合的な学習

研究成果を後輩に伝え

風力発電や鮭などテーマ

【留萌発】羽幌高校（宮下裕加校長）は一月下旬、三年生が学習成果を披露する「まとめ発表会」を開いた。全校生徒が参加し、事前の予選会を勝ち抜いた三年生四班がテーマに沿った研究成果を発表。三年間の総合的な学習の時間を振り返りながら、これまでの学習成果を後輩へ伝えた。同校は新学習指導要領を契機え、地元羽幌町をはじめとする地域と協働するクローカル型のコンソーシアム構築を目指している。一年生は地元の自然環境、二年生は地元の産業、三年生は地元の歴史・文化というテーマについて、創意工夫を生かした教育活動を実践している。

「鮭の生態と物質循環」スト化の取組などを発表。「鮭に関する食生活について」をテーマに発表した。「風力発電の是非」班は、原子力発電などとは異なる自然に影響を与えない持続可能なエネルギーの有効性について解説した上で、風力発電の普及に向けた省コスト化の取組などを発表。「鮭の生態と物質循環」班は、鮭の栄養価や水産加工の工程などに関する調査結果のほか、需要と消費、国内の流通経路などを説明した。

発表を聞いた一・二年生からは、「聞いている人を飽きさせない工夫があった」「班員のチームワークが素晴らしいかった」などの感想が。来年度以降に発表を控える一・二年生は三年生からバトンを託された。

テーマと内容に合わせた手法で発表を行った